

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成19年5月10日(2007.5.10)

【公開番号】特開2003-302847(P2003-302847A)

【公開日】平成15年10月24日(2003.10.24)

【出願番号】特願2002-107319(P2002-107319)

【国際特許分類】

G 03 G	15/20	(2006.01)
H 05 B	6/06	(2006.01)
H 05 B	6/14	(2006.01)

【F I】

G 03 G	15/20	1 0 1
G 03 G	15/20	1 0 3
H 05 B	6/06	3 9 3
H 05 B	6/14	

【手続補正書】

【提出日】平成19年3月20日(2007.3.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】 高周波電流を通電することにより磁束を発生するコイルと、前記磁束の作用により発熱する導電体を備えたローラと、を有し、前記ローラの熱により記録材上のトナー像を加熱する像加熱装置において、

前記コイルと電気的に絶縁されて前記ローラの近傍に配置され、前記コイルの電位変動に伴って生じる誘起電圧を整流することで所定極性の電圧を発生する電圧発生回路を有することを特徴とする像加熱装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明に係る像化熱装置の代表的な構成は、高周波電流を通電することにより磁束を発生するコイルと、前記磁束の作用により発熱する導電体を備えたローラと、を有し、前記ローラの熱により記録材上のトナー像を加熱する像加熱装置において、前記コイルと電気的に絶縁されて前記ローラの近傍に配置され、前記コイルの電位変動に伴って生じる誘起電圧を整流することで所定極性の電圧を発生する電圧発生回路を有することを特徴とする像加熱装置、である。